

(第2号様式の1)

令和 年 月 日

鹿児島県教育委員会 殿

住 所

氏名等

印

周知の埋蔵文化財包蔵地における土木工事等について (届出)

周知の埋蔵文化財包蔵地において土木工事のため発掘を実施したいので、文化財保護法(昭和25年法律第214号)第93条第1項の規定により、関係書類を添付し、下記のとおり届け出ます。

記

1 所在地	
2 面積	
3 土地所有者	氏名： 住所：
4 遺跡の種類	散布地 集落跡 貝塚 都城跡 官衙跡 城館跡 社寺跡 古墳 地下式横穴墓 地下式板石積石室 その他の墓 生産遺跡 その他の遺跡 ()
遺跡の名称	遺跡ほか 遺跡
遺跡の現状	宅地 水田 畑地 山林 道路 荒蕪地 原野 その他 ()
遺跡の時代	旧石器 縄文 弥生 古墳 奈良 平安 中世 その他 ()
5 工事の目的	道路(農道を除く) 農道 鉄道 空港 河川 ダム 宅地造成 区画整理 公園造成 学校 住宅 工場 その他建物 () ガス 電気 水道 土砂採取 農業関連(農地整備等) 観光開発 その他開発 ()
工事計画 工事方法	
6 工事主体者	氏名： 住所：
7 工事担当者	氏名： 住所：
8 着手予定時期	令和 年 月 日
9 終了予定時期	令和 年 月 日
10 参考事項	

鹿教文第 号・ 年 月 日		市町村文書番号	
指 導 事 項		発掘調査 工事立会 慎重工事 その他 ()	
起 案	決 裁	発 送	引 継

【注意事項】

- ① 太線内は届出者が記入。
- ② 遺跡の種類・現状及び工事目的欄は、該当項目を○で囲み、該当項目のない場合は()内に記入。

【関係書類】※A4版に統一する。

- ① 埋蔵文化財包蔵地の位置を記入した地形図(25,000分の1)。
- ② 工事計画平面図に工事に係る埋蔵文化財包蔵地の範囲を記入した図面(1,000分の1又は2,000分の1)。
- ③ 土木工事等の種類が道路工事等の場合には標準断面図。

(第2号様式の1)

《記入例》

令和 年 月 日

鹿児島県教育委員会 殿

日付は空欄で構いません

住所 事業者および所有者住所

氏名等 事業者及び所有者名 印

周知の埋蔵文化財包蔵地における土木工事等について (届出)

周知の埋蔵文化財包蔵地において土木工事のため発掘を実施したいので、文化財保護法(昭和25年法律第214号)第93条第1項の規定により、関係書類を添付し、下記のとおり届出ます。

記

Table with 10 rows and 2 columns. Row 1: 所在地 (施工場所の所在地 (住居表示可)). Row 2: 面積 (施工場所の建築面積 (建坪面積)). Row 3: 土地所有者 (氏名: 事業者及び所有者名, 住所: 事業者および所有者住所). Row 4: 遺跡の種類 (散布地, 集落跡, 貝塚, 都城跡, 官衙跡, 城館跡, 社寺跡, 古墳, 地下式横穴墓, 地下式板石積石室, その他の墓, 生産遺跡, その他の遺跡). Row 5: 工事の目的 (道路, 農道, 鉄道, 空港, 河川, ダム, 宅地造成, 区画整理, 公園造成, 学校, 住宅, 工場, その他建物, ガス, 電気, 水道, 土砂採取, 農業関連, 観光開発, その他開発). Row 6: 工事主体者 (氏名: 事業主(者)名, 住所: 事業主(者)住所). Row 7: 工事担当者 (氏名: 施工主(者)名, 住所: 施工主(者)住所). Row 8: 着手予定時期 (令和 年 月 日). Row 9: 終了予定時期 (令和 年 月 日). Row 10: 参考事項.

Table with 2 rows and 2 columns. Row 1: 鹿教文第 号・ 年 月 日 (left) and 市町村文書番号 (right). Row 2: 指導事項 (left) and この欄は記入不要 (center) and 継 (right).

【注意事項】

- ① 太線内は届出者が記入。
② 遺跡の種類・現状及び工事目的欄は、該当項目を○で囲み、該当項目のない場合は()内に記入。

【関係書類】 ※A4版に統一する。

- ① 埋蔵文化財包蔵地の位置を記入した地形図(25,000分の1)。
② 工事計画平面図に工事に係る埋蔵文化財包蔵地の範囲を記入した図面(1,000分の1又は2,000分の1)。
③ 土木工事等の種類が道路工事等の場合には標準断面図。